

\* 6/20(Mon)夕方-6/23(Thu)夕方： 理研

- \* B3F samurai 計測領域での整理。
- \* Kappa 実験に借用していた Samurai 回路は殆ど返却。
- \* Kappa 磁石の分解/移動/仮置 (大津)。
- \* 7月中旬-下旬に KEK 東カウンターホールへ返却

\* PDC-P

- \* 2枚 Anode 面に放電/漏電流対策をして再度組立、ガス(He/CH4)置換 (~4日間)
- \* 高圧試験：一応+2.2/-0.1kV 程度までかかり、十分なカソード信号が見える。大分改善された。
- \* 漏電流が多めなので、+2.15/-0.1KV で週末に HV conditioning。2.2/0.1kV で~10nA
- \* Reference chamber (KDC)の準備中

\* FDC2

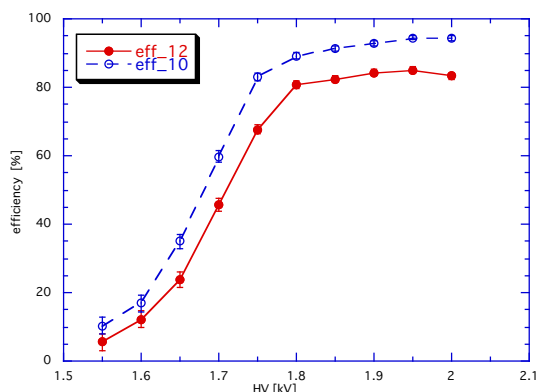
- \* 状況：ワイヤー張りは終了。アノード張力を再度測定し、ゆるめの物を張り替える予定。
- \* こちらで作った架台用の底板2枚を林栄に渡して、FDC2への取り付け+キャスター設置の相談をした。
- \* 7月中旬頃 B2F に搬入予定(?)。試験の場所(B3F/B2Fなど)については相談中。シールド板は忘れていたらしく間に合わない。
- \* FDC2 架台組立： 多分7月下旬の予定(HIMAC ビーム試験の後)

\* TED

- \* イリサート加工済結晶(x32)、3"φ-PMT(x27)、optical coupling 2種を東北へ移動。
- \* optical coupling のつけ方に工夫が必要

\* HPC

- \* P10 を少量流しているなので置換に時間がかかる。
- \* 2台試験。5分/点、1時間/検出器。できたら試験を代わってもらいたい。



\* FDC1/外箱 (千賀)

- \* 信号用 Feedthrough フランジを10枚つけて真空試験中：手製のハーメチックシールをつけても殆ど変化無し。
- \* 早めに FDC1 を入れて試験ができるようにする。